

競争力強化にむけて「働き方改革」をドライブ  
～ 在宅勤務を継続しながら感染防止と企業活動を両立 ～

アールワークスは政府による感染症防止と経済社会活動の両立を図るニューノーマル（避けられない構造的な変化による新たな状態や常識）を見据え、在宅勤務の活用を検討しています。

当社は2020年3月4日以降、感染予防対策として事業継続に必要な業務以外、原則在宅勤務とする体制を既に敷いています。こうした中、緊急事態宣言が解除されるなど、自粛緩和の動きが広まりつつあります。しかしながら、治療薬等の開発・実用化には時間を要するため、感染防止策の継続は必要とされており、当社は現行の在宅勤務体制を当面継続する予定です。

このような状況の中、当社はウィルス感染の再拡大や自然災害が発生した場合にも通常通りの企業活動が維持・継続できるようにニューノーマルでの職務体制構築に着手しています。従業員の心身ケアを目的とした仕掛けづくり、入社時と変わらないIT環境の整備、出社を前提としたルールの見直しなどが検討対象です。在宅勤務をコアとした職務体制の再設計はコスト削減だけではなく人材の再配分にもつながり、より付加価値の高いサービスが提供できると確信しています。他方、実在の空間を共有する意義も重要であり、職場でのチームワーク無くしては持続可能な成長は達成できないと感じています。

“Online”と“Offline”の空間をベストミックスした「働き方改革」の推進により、仕事のやりがいやプロ意識を醸成し、能力を最大限に発揮できる環境を整えることで、会社全体として競争力を強化しながら、社会貢献を目指していきます。

在宅勤務をコアとした「働き方改革」のロードマップ

2020年 5月	在宅勤務に係る従業員アンケートの実施
2020年 6月	在宅勤務における課題振り返り、総括
2020年 7月～9月	中長期的な勤務形態の検討 在宅勤務の活用整備、コスト最適化の検討 規則・協定等の見直し検討

2020年6月  
株式会社アールワークス  
代表取締役  
池田 豊